

あらかわく
荒川区のモノづくりブランド「ara!kawa 認定商品」の

製作現場を見せてください!!



ほん
本は
どうやってできるの?

渡邊製本で行う工程は大まかに3つ。糸でとじた本の中身の背をのり付けし(仮固め)、上・下・横の三辺の端を切り揃え(断裁)、表紙を貼り合わせて(表紙付け)、仕上げます。必要な機械は7種類ほどありますが、手作業も欠かせません。

本作りの工程を動画で学びます。さまざまな作業の様子にジュニア記者たちの目が釘付けです



1冊1冊丁寧に作られているんだね



「製本は、印刷された一枚の大きな紙を折り畳むことから始まります」と渡邊さん。本の内容を考えて作る出版社、印刷する印刷会社、それを形にする製本会社によって本は作られます

糸でとじた本の中身がバラバラにならないように、背にのりを付けて仮固めをします。のりはバインダーという大きな機械を使って付けます



大谷彩希さん

渡邊製本で作った本を見せてもらいます。「内側の緑の紙が本の中身と表紙をつなぎ合わせているんだよ」と本の構造を教わります

これから本を見る目が変わりそう!



二連式焼き付けプレス機という機械で、大きな力をかけて本の中身と表紙を押し付けて圧着させます



中村夢萌さん

渡邊製本株式会社は、印刷した紙をとお合わせて、表紙を付けて本の形にする「製本」を行っています。区内には現在、15社以上の製本会社があるそうですが、どんなものを製本しているかは会社によって違います。ジュニア記者たちは本作りの工程を見学してもらい、その技術を生かして作られる「ara!kawa 認定商品」のノート作りも体験しました。

渡邊製本株式会社

昭和21年(1946)創業の製本会社。辞典や図録、学術書などの上製本(ハードカバーの本)、並製本(ソフトカバーの本)を手がけています。オリジナルノートも直接買うことができます。荒川区東日暮里3-4-2 ☎(3802)8381

社長の渡邊浩一さん



自分で作ったノート、大切にします!



林 幸来さん



中身の背に手早く刷毛でのりを塗ってお手本を見せてくれる職人さん。次に作業台の角に強く擦り付け密着させます

表紙を付けたノートをプレス機に挟みます。鉄板の台の下にはガスバーナーがあり、火の熱と押す力によって表紙と中身をしっかりと圧着させます



オリジナルノート作りを体験しました!

できました!



分厚い紙の束も簡単に切れちゃうよ!



二反田友妃さん



三方断裁機という機械でノートの三辺を同時に断裁して端を整え、角丸機でノートの角を丸く切り落とします

あらかわモノづくり

OXクイズ

- Q1 製本会社で作るのは本だけです。
- Q2 製本は1台の機械ではできません。
- Q3 荒川区の製造業の中で最も多いのは、印刷や製本に関連する事業所です。

答えは4面にあります

「ara!kawa」を知っていますか?

区では新しくアイデアあふれる、見た人が「あら!」と驚いたり「いいね!」と思う商品を、「ara!kawa 認定商品」として認定しています。

